

履歴書・教育研究業績書等の作成について(保育科採用人事)

[すべての書類について]

1. 所定の様式1～4(A4判)により作成する。
2. 自筆またはワープロ、パソコン等で作成してもよい。
3. 氏名の記入は自筆とする。

[履歴書]

1. 「学歴」欄について

大学若しくはこれと同等以上と認められる学校の入学以降の学歴を有する者は、これらの学歴すべてについて記入する。その他の者は、最終学歴について記入する。なお、学位、称号等も本欄に記入する。

2. 「資格・免許」欄について

取得している資格・免許を記入する。医師、歯科医師、歯科衛生士等の場合には、免許番号を記入する。

3. 「職歴」欄について

職歴のすべてについて、職名、職位等を記入する。なお、過去における教員の組織審査において教員の資格があると認められた者は、当該教員組織審査に係る大学名、審査の月日、職名及び担当授業科目名を記入する。

4. 「学会及び社会における活動等」欄について

本人の専攻、研究分野等に関連した事柄についてのみ記入する。

5. 写真 縦4cm×横3cm

[教育研究業績書]

1. 主要な著書、学術論文等について記入する。(発行または発表の予定されているものを記載する場合は証明書等をつけること)著書・学術論文(査読付き論文は明記すること)・その他(学会発表・ポスター発表等)の項目に分け、著書、学術論文等のそれぞれの項目ごとに通し番号を記入することが望ましい。

2. 「著書、学術論文等の名称」の欄には、著書、学術論文、その他の順に、それぞれ年月日順に記入する。未刊行の卒業論文、修士論文等は記入しない。

3. 「概要」の欄には、著書、学術論文等の概要及びページ数について、各著書、学術論文等毎に、200字以内で記入する。

4. 共著の場合は、著書及び学術論文等の全体の概要及び担当部分の概要並びに**記載ページ(例p. ○～p. ○)**を明記し、また、本人の氏名を含めた**著作者全員**の氏名を該当著書、学術論文等に**記載された順**に記入する。

[教科と教育研究業績書の業績対応表]

1. **専門分野の教科【主要担当教科】**について、「教科」欄に教科名を記載し、「教育研究業績書」に記載した「著書、学術論文等の名称」を該当欄に対応させ記入する。また、**【その他に担当する教科】**についても業績がある場合は対応表に記入することが望ましい。その際、「教育研究業績書」に記入した通し番号を記入することが望ましい。(専門分野の教科については公募要領を参照のこと)

2. 専門分野における教育研究業績が複数の教科に対応する場合は重複して記入する。

3. 「教科」に対する「著書、学術論文等の名称」欄の行数については数に応じて適宜増減させて記入する。

[教育・研究に対する抱負]

これからの教育・研究に対する抱負を具体的に記入する。

履 歴 書

(その1)

ふりがな		男 女	写 真 縦4cm×横3cm
氏 名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (満 歳)		
現 住 所	(〒 -)	(自宅電話)	- -
		(携帯電話)	- -
		(FAX)	- -
		(E-mail)	
学 歴			
年	月	事 項	
資 格 ・ 免 許			
年	月	事 項	

学会及び社会における活動等

年	月	事	項

賞 罰

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

氏 名

印

教 育 研 究 業 績 書

氏 名

㊟

著書、学術論文等の 名称	単 著 共 著 の 別	発行又は発表 の年月日	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要

著書、学术论文等の 名称	单著共 著の別	発行又は発表 の年月日	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要

教科と教育研究業績書の対応表

氏名

印

教科

著書、学術論文等の名称

教科	著書、学術論文等の名称

教 科	著書、学術論文等の名称

※「教科と教育研究業績書との対応表」は、専門分野【主要担当教科】において担当する教科のみ記入。ただし、【その他に担当する教科】についても業績がある場合は記入することが望ましい。詳細は 公募要領を参照のこと。

様式4 (A4判)

教育・研究に対する抱負

氏名 _____ ④